

第7回 日本ヴァイオリンコンクール

主催：公益財団法人 日本芸術協会
日本芸術センター

会場：軽井沢芸術倶楽部



2023年8月27日から9月3日までの8日間にかけて第7回日本ヴァイオリンコンクールが開催されました。今回の審査会場は、日本を代表する避暑地・高級リゾート地として名高い軽井沢に所在する「軽井沢芸術倶楽部」が採用され、音源審査を突破された選ばれし9名が、充実した練習環境・宿泊機能を有する軽井沢芸術倶楽部にコンクール期間中滞在し、出場者達が互いに切磋琢磨し、鎬を削り合う極めて高いレベルのコンクールが実現いたしました。今年も国内外から実力ある演奏者が集結し、参加した全員が本選及び各賞の選考対象となっております。

今回本選に選出された8名のヴァイオリニストには招聘証が授与されており、今後は東京芸術センター・神戸芸術センター・日本芸術会館にて定期演奏会が行われます。

本コンクールは優れた演奏家を顕彰する目的で開催されており、コンクールだけでなく、その後の演奏活動をサポートし、成長の場を提供することを特色としております。

写真 藤原 晶世さん

審査員 紹介

※順不同・敬称略

村井 敬



東京大学建築学科卒 (辰野賞 大学取組)
東京大学大学院修了後、日建設計を経て村井敬合同設計設立。現在、日本芸術協会代表、日本芸術センター会長等を兼務。国連設立記念事業委員長、世界デザイン会議アジア太平洋地域代表などを歴任。エリザベート音楽ホール設計で日本建築業協会賞など受賞歴多数。防衛省、在ロシア日本大使館、東京大学理学部1号館、山梨県立文化ホールなど多様な公共建築を設計し、殊に建築音響設計に先駆的役割を果たす。近代建築社、建築ジャーナル社等から多数の作品集が発行されている他、理工図書刊「都市の輪廻」は日本図書館協会選定図書に指定され高校3年国語の教科書にも使われ、日本経営協会刊「ヒューマンオフィス」等と多岐に亘る著作がある。

植村 理葉



桐朋女子高等学校音楽科を卒業し、文化庁芸術家在外研修員(3年派遣)としてケルン音楽大学でイゴール・オジム氏に師事、ローム音楽財団より助成を受け、ローザンヌ音楽院でピエール・アモイヤル氏に師事、ドレスデン音楽大学でマンフレッド・シュルツァー氏に師事、いずれも最優秀成績で卒業。国内では小林健次、和波孝たかよし、鈴木共子、千本芳恵の各氏に師事。全日本学生音楽コンクールヴァイオリン部門小学生の部全国大会第1位。日本音楽コンクール第2位およびナカミチ賞受賞。ミクランジェロ・アバド国際ヴァイオリンコンクール第1位。L. モーツァルト国際ヴァイオリンコンクール最高位、併せてモーツァルト特別賞受賞。新日鉄音楽賞フレッシュ・アーティスト賞受賞。ヨーロッパでリストとして招かれオーケストラと共演したコンサートは90回に及び、国内外多数のオーケストラと共演。国外の音楽祭に招かれモーツァルトのコンチェルトを共演。ウランバートルでも客演の他マスタークラスを行う。植村理葉ヴァイオリン夏期講習を毎年東京で開催。2020年にピュンス弦楽四重奏団を立ち上げ、ベートーヴェン弦楽四重奏全曲演奏会を展開している。現在はベルリンと東京に拠点を置き、リスト、室内楽奏者として活躍。

講評

金賞の藤原晶世は、一次予選から一貫して安定したテクニックと、明確で、時にはコンクールという枠を超える表現力で演奏を支えた。銀賞のWei-Lin Chenは、強靱な左手のテクニックと細部までゆるぎない音楽が特徴的だった。本選では、紙の楽譜でなく小型のタブレットを見ながらの演奏で、それゆえか演奏が小さくまとまったのが惜まれる。銅賞の伊藤伶子は、バガニーニのイ・パルビティの序奏で曲の魅力あふれる歌を瑞々しい音で披露した。ブラームスのソナタでの楽曲の構成力に今後期待する。入賞を逃したTsao Wei Chunは、予選での彼女自身の演奏を凌駕して本選では集中しきった演奏をピアニストと共に聴かせた。他のファイナリストもそれぞれに長所があり、自由曲が多いとはいえ、たくさんのレパートリーを準備し、演奏したことに心から拍手を送りたい。



入賞者 プロフィール

※敬称略

金賞 300万円

藤原 晶世 (187点)

第1回東京芸術センター記念ヴァイオリンコンクール 金賞
第1回神戸芸術センター記念ヴァイオリンコンクール 金賞
第2回日本ヴァイオリンコンクール 年間最優秀賞
第4回日本ヴァイオリンコンクール 金賞
第6回日本ヴァイオリンコンクール 金賞
学生支援機構 優秀学生顕彰文化芸術部門 大賞

ウィーンベートーベン国際コンクール 第2位(ウィーン)
ロンティボー国際コンクール ヴァイオリン部門 セミファイナリスト(パリ)
ギャルファス財団ヴァイオリンコンクール 奨励賞(ベルリン)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校及び同大学卒業。
同大学院入学後渡独し現在ベルリン芸術大学にてノラ・チャスティン、伊藤マレーネの両氏に師事。
ソリストとして日本フィルハーモニー、芸大フィルハーモニー、Neusser Kammer orchester(ドイツ)などと共演。
オーケストラ奏者としてベルリンフィルハーモニー等のオーケストラで演奏している。



銀賞 75万円

Wei-Lin Chen (183点)



2002年台湾の桃園生まれ。Wei-Zhe Hong, Xuan Li, Ray Chang, Joyce Chang, Nanette Chen の各氏に師事。現在、コルバーン音楽院在学中、マーティン・ビーヴァー氏に師事。
第4回香港国際音楽コンクール ヴァイオリンジュニアグループ1位。
全国学生音楽コンクール 高校生グループA 第2位。(台湾)
アモイ国際ヴァイオリン音楽コンクール 第2位。(中国)
台湾全国学生音楽コンクール高校Aグループ第1位。(台湾)
ATS第14回ヴァイオリンコンクールで2位とベストバツハ賞を受賞し、国立コンサートホールで演奏した。(台湾)
香港インヘルツ・フィル オンラインヴァイオリンコンクール第2位。(香港)
北米ヴァルトウオーゾ国際音楽コンクール入賞。

銅賞 40万円

伊藤 伶子 (173点)



全日本学生音楽コンクール名古屋大会、ブルクハルト国際音楽コンクール、岐阜国際音楽コンクール、万里の長城杯国際コンクール、日本クラシック音楽コンクール第一位又は(最高位)。グリュミオー国際音楽コンクール第2位(ベルギー)。国際音楽NIPPON2022年マスタークラス受講。2018.2023年ミュージック・アカデミーinみやざきにて奨励賞受賞。
中部フィルハーモニー、NHK交響楽団のメンバーで構成されたハマのJACKオーケストラと共演。
東京藝術大学附属高等学校を経て、東京藝術大学在学中。早期教育プロジェクト2023 in 熊本にて演奏。徳永二男、漆原朝子、松原勝也、白石禮子の各氏に師事。

入選者 プロフィール

※敬称略

伊東 咲耶 (155点)



3歳より窪田寿子氏のもとでヴァイオリンを始める。現在、窪田寿子氏、窪田茂夫氏に師事。第40回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール全国大会高校の部1位。第67回鎌倉市小・中・高学生音楽コンクール高校生の部1位、総合1位(グランプリ)、野村光一賞。第24回演奏家コンクール高校生の部3位。第76回全日本学生音楽コンクール高校生の部全国大会1位。東儀賞、兔東賞、NHK会長賞。早稲田大学創造理工学部1年在学中。

田所 小波 (158点)



第13回ベータン音楽コンクール第3位。第29回日本クラシック音楽コンクール大学生の部最高位。他受賞多数。京都フランス音楽アカデミーにてスカラシップを受賞し、パリ エコール・ノルマル音楽院にて研鑽を積む。在学中、最高演奏家課程の最終学年に飛び級で在籍し、審査員賞付きの主席でディプロムを取得。これまでにヴァイオリンを田澤明子氏、景山誠治氏、千々岩英一氏、Regis Pasquier氏に師事。Salle cortotを始め、パリ市内の多数コンサートへ出演。現在、特待生として桐朋学園大学音楽学部3年在学中。

松本 華子 (166点)



4歳よりヴァイオリンを始める。雙葉学園、桐朋学園大学、同大学院修士課程を経て、現在、桐朋学園大学大学院博士後期課程3年在籍。また、修士課程より、アントニン・ドヴォルジャークの初期弦楽四重奏曲の研究をする。第14回ベータン音楽コンクール東京大会金賞、第12回セリシア国際音楽コンクール室内楽部門第3位など多数のコンクールに入賞。2022,2023年度日本芸術協会奨学生。これまで、ヴァイオリンを鈴木亜久里、景山誠治、原田幸一郎の各氏に師事する。

Tsao Wei Chun (171点)



4歳からヴァイオリンを始める。現在、ヨン・シュー・トー音楽院(シンガポール)国立大学音楽学部)でYang Shuxiang氏の指導の下、ヴァイオリン演奏の学士号を取得。東海大学(台湾)音楽科準備クラスに入学し、オーケストラコースを受講。Li Shu Deヴァイオリンコンクール青少年エリートグループ第3位、最年少受賞。国立台北芸術大学より「明けの明星」に選ばれる。国立台湾芸術教育センター全国音楽コンクール青少年エリートグループ第3位、最年少受賞。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学卒業。その後渡欧し、アムステルダム音楽院修士課程を最高得点で修了。現在、ヨーロッパを拠点に学修を続けている。

木村 瑠菜 (172点)



広島出身。第51回国際ジュネス音楽コンクール第4位、2022クラウディオ・シモーネ国際コンクールにてジュゼッペ・タルティーニ賞を受賞。大阪国際音楽コンクール第1位、第20回KOBEL国際音楽コンクール優秀賞等、国内外で数々の賞を受賞する。これまでに広島交響楽団、イ・ソルステイ・ヴェネチエ、RTS交響楽団と共演する。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学卒業。その後渡欧し、アムステルダム音楽院修士課程を最高得点で修了。現在、ヨーロッパを拠点に学修を続けている。